

貸借対照表

(2022年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	6,546,567	流動負債	3,137,782
現金預金	3,701,215	買掛金	412,904
売掛金	1,604,922	未払金	1,129,349
製品	918,733	未払法人税等	1,227,046
仕掛品	166,579	未払消費税	302,061
原材料・貯蔵品	126,328	未払費用	16,566
前払費用	16,292	預り金	18,235
短期債権	3,017	賞与引当金	31,618
その他の流動資産	9,478	固定負債	1,214,229
固定資産	8,070,699	長期借入金	1,113,000
有形固定資産	6,883,849	繰延税金負債	101,229
建物	586,176	負債合計	4,352,012
建物附属設備	144,074	(純資産の部)	
構築物	3,979,548	株主資本	9,817,791
機械及装置	772,514	資本金	300,000
車両運搬具	0	資本剰余金	393,325
工具器具備品	71,478	資本準備金	393,325
土地	363,642	利益剰余金	9,124,466
建設仮勘定	966,414	利益準備金	75,000
無形固定資産	3,561	その他利益剰余金	9,049,466
ソフトウェア	404	別途積立金	5,700,000
施設利用権	1,137	繰越利益剰余金	3,332,415
借地権	1,400	固定資産圧縮積立金	17,050
商標権	618	評価・換算差額等	447,462
投資その他の資産	1,183,288	その他有価証券評価差額金	447,462
投資有価証券	1,060,548	純資産合計	10,265,254
長期前払費用	2,241	負債・純資産合計	14,617,266
その他の投資	122,098		
貸倒引当金	△ 1,600		
資産合計	14,617,266		

当期純利益 (単位：千円)

2,880,421

〔個別注記表〕

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

満期保有目的の債券 …………… 償却原価法

その他有価証券

市場価格のない …………… 決算日の市場価格等に基づく時価法を適用しています。評価
株式等以外のもの 差額は全部資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法
により算定しています。

市場価格のない株式等 …………… 移動平均法による原価法を適用しています。

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

評価基準は原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）
を適用しています。

製品 仕掛品 …………… 総平均法を適用しています。

原材料 貯蔵品 …………… 移動平均法を適用しています。

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …………… 定額法

無形固定資産 …………… 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を適用しています。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …………… 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績
率により算定し、貸倒懸念債権等特定の債権については、個
別回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

退職給付引当金 …………… 従業員の退職給付に備えるため、期末退職金要支給額から年
金資産期末残高を控除した額を計上しています。

賞与引当金 …………… 従業員の賞与の支給に備えるため、支給実績を基準にして算
出した支給見込額を計上しています。

(5) 収益及び費用の計上基準

主要な事業における主な履行義務の内容及び該当履行義務を充足する通常の時点（収益を認識
する通常の時点）は以下の通りです。

ヨウ素 …………… ヨウ素の製造及び販売をしており、顧客に製品を引き渡した
時点で収益を認識しています。

ヨウ素化合物 …………… ヨウ素化合物の製造及び販売をしており、顧客に製品を引き
渡した時点で収益を認識しています。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

当事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 …………… 2,335株